

埼玉県看護協会

東部支部 news

2026.5
vol.01

令和8年度 東部支部通常総会開催報告

東部支部副支部長

医療法人財団健和会みさと健和病院 小林志津佳



4月25日、埼玉県看護協会東部支部通常（総会が開催されました。支部会員数2954名、委任状提出が2309名、会場参加は20名でした。総会は、令和7年度支部長の加藤好江氏の挨拶に始まり、令和7年度事業報告・決算報告ならびに令和8年度事業計画・予算案について審議が行われ、すべての議案が承認されました。新旧役員の交代もあり、これまで支部活動を支えてこられた役員の皆様への感謝とともに、新体制での支部運営への期待が寄せられました。

令和7年度は、医療・介護を取り巻く環境が変化する中においても、地域で働く看護職が学び合い、交流できる場として、さまざまな研修や支部活動が企画・運営されました。

研修会では、臨床現場での課題や実践を共有し合うことで、参加者の学びや気づきにつながっていたように感じました。

現在、地域包括ケアの推進や人材育成、多職種連携など、看護職に求められる役割はますます多様化しています。そのような中で、支部活動は知識や技術を学ぶだけでなく、地域で働く看護職同士がつながり、支え合う大切な場になっていることを改めて実感しました。

総会の最後には、埼玉県看護協会専務理事 吉永智子氏による看護協会への入会促進についての呼びかけも行われました。看護職を取り巻く環境が変化する中で、看護協会の活動や組織力はますます重要となっています。多くの看護職が協会活動へ関心を持ち、地域の看護をともに支えていく仲間としてつながっていくことが望まれます。

支部役員として活動に携わる中で、支部活動は会員一人ひとりの協力によって成り立っていることを強く感じています。令和8年度も会員の皆様にとって学びや交流の場となるよう役員一同取り組んでまいります。地域の看護職が互いに支え合いながら成長し、地域住民へより良い看護を提供できるよう、引き続き支部活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記

今年度も会員の皆様のご支援のもと、無事に通常総会を開催することができました。心より感謝を申し上げます。今後も、東部支部の活動を発信し、つながりを大切にした広報を目指して参ります。

[制作・編集担当 白鳥 久保田 國吉]